

17年の時を経て

平成14年度から平成30年度までの17年間に、水と緑の少年隊により1本1本心を込めて植栽された植樹木(約5,000本)は、足尾の厳しい自然環境や風化されやすい地形、地質にもかかわらず立派に根付いています。荒涼とした足尾・松木地区の山々に、“水と緑の少年隊”3,243名の手によって緑が取り戻されつつあります。

植樹活動の当初に植栽されたシラカバ、オオヤ

マザクラ、アカマツ、ヤマモミジ、コナラなどの細い苗木だった植樹木も17年の時を経て、こんなに立派に成長し、足尾の自然の中に凛として佇んでいます。

第1回水と緑の少年隊に参加され、約10年後に再び参加された隊員が、10年前に自分が植えたコナラの木を見つけ、「大きくなりましたね!」とその成長に驚いている姿がとても印象的でした。

植樹活動当初の足尾・松木地区

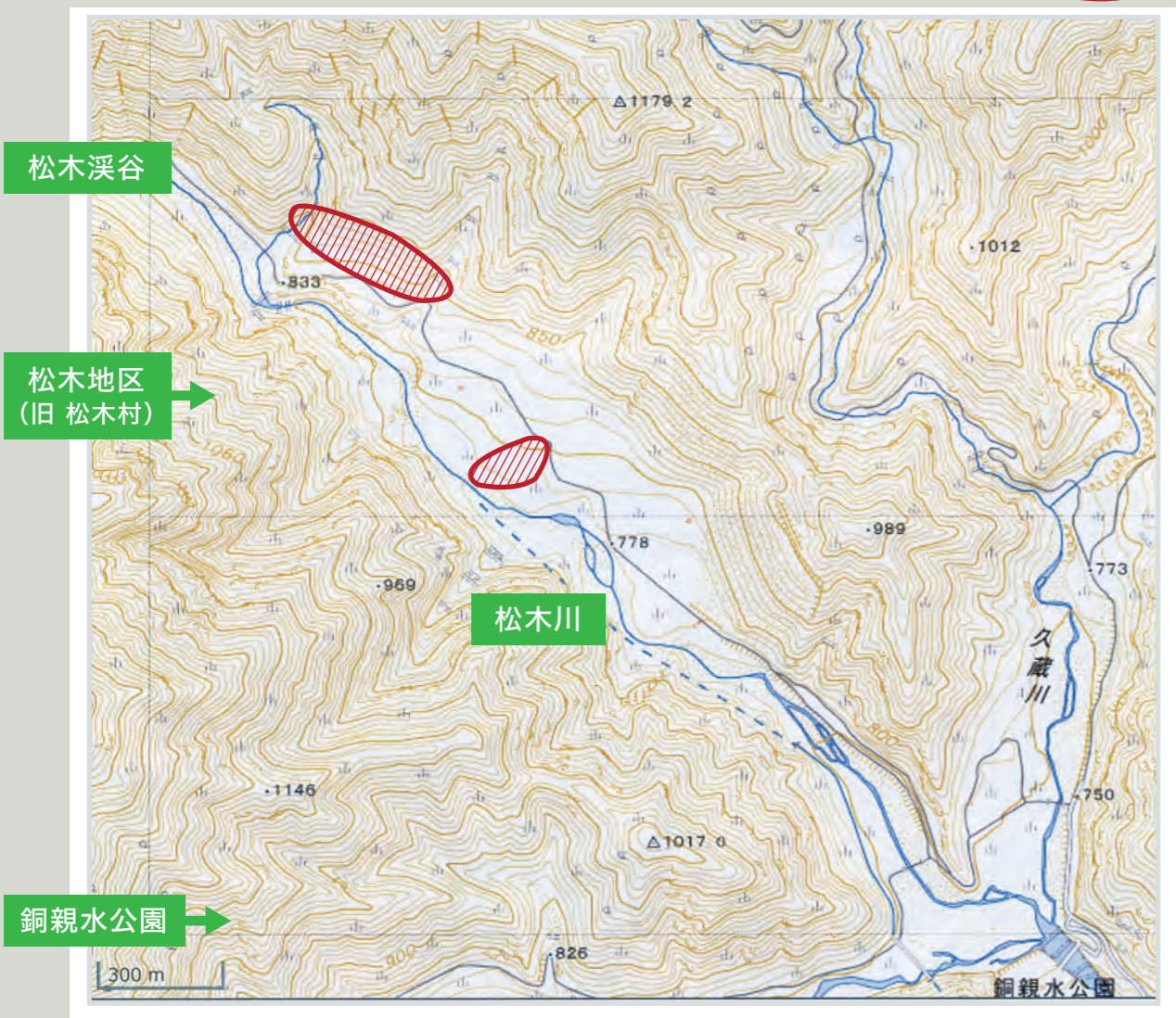
民家は無く、褐色の山の地肌がむき出しになった荒涼たる風景が広がっていました。



Project MAP

水と緑の少年隊による植樹位置図

【植樹場所： 】



栃木県内における日光市と旧足尾町の位置



旧足尾町内における植樹場所



旧足尾町松木地区 植樹場所位置図

旧足尾町松木地区は、足尾の市街地の北西部に位置し、一級河川、渡良瀬川上流の水源地域となっています。松木地区を流れる松木川は、神子内川と合流し、その後、渡良瀬川となり足利市、佐野市などを流れ、地域に多くの恵を与えています。

Project History
for 17 years
Ashio 2002-2018



17年の時を経て

細い苗木だったオオヤマザクラやシラカバも
こんなに立派に成長しました。



船田顧問によって植樹されたオオヤマザクラの苗木



佐藤 勉 顧問が植樹したオオヤマザクラ



シラカバなどの苗木を手にする隊員たち



17年の時を経てシラカバも立派に成長しました



大きくなりましたね!

第1回に少年隊員として参加し、10年後に再び
参加した隊員が、10年前に植えた木の成長に
ビックリ



17年の時を経て



平成14年 当時の足尾・松木地区



平成17年 第4回植樹活動



平成20年 第7回植樹活動



現在の松木地区